

就職・採用活動の改善に向けて

～大学側・企業側がともに手を取り合い、より良い就職・採用活動を目指しましょう～

高い能力を持った人材を育成するためには、教育の質向上を図り、学生が学業・課外活動に専念できる環境を整えることが必須です。

この度発表された公益社団法人経済同友会の提言は、早期化・長期化する就職・採用活動を改善し、学生が自己研鑽できる環境を整える着実な一歩として高く評価いたします。

我が国の再生・発展を維持するためには、その担い手となる若者の成長と活力が失われてはなりません。我々大学側は、これまでも繰り返し産業界に対し就職・採用活動に関する要請を行っており、また一昨年の秋以降、産業界諸団体からも早期化・長期化する就職・採用活動の改善のため、多くの提言がなされたことは大いに歓迎いたしますが、全般的には改善がなされたとは認めがたく、依然として大学等の教育に悪影響が生じています。

大学側としては、

- ①早期化・長期化是正のため、採用に関する広報活動の開始時期は卒業前年度の3月以降、選考活動は卒業前年度の成績を適切に評価できる時期以降（望ましくは卒業年度の夏季休暇以降）とすること。
- ②採用基準を明確化し、採用決定プロセスの透明化を図ること。
- ③既卒者が再チャレンジできるよう配慮し、新卒要件の緩和を図ること。

などの点について、全ての産業界が一体となって実現し、大学等が教育の使命を十分に果たすことができるよう、就職・採用活動の改善を図っていただくよう御願いたします。

就職・採用活動の改善には、企業側の御理解が不可欠です。そのためには、大学側・企業側が継続的に協議をしていくことが何よりも重要ですので、引き続きの御協力を賜りますよう御願いたします。

平成24年2月23日
就職問題懇談会座長 濱口道成